



注目ポイント

- ✓先週末、注目されていたジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の発言は、「利下げに前向き」と評価され、海外市場では債券高(金利低下)、株高、そしてドル安の展開となり週の取引を終えている。
- ✓今週、そのパウエルFRB議長の発言を受けて、為替はドル安方向に傾きやすく、国内外の金利には低下圧力がかかりやすい展開が見込まれる。また国内株式市場では、円高が足枷となろうが、海外投資家が買い越しに回帰していたこと等からセンチメントも良く、先週の調整からの反発で状況によっては最高値更新への期待も。ただし、米国ではPPI(7月)が予想比上振れたことや、FOMC(7月開催)議事要旨が利下げに慎重なトーンであったことは、市場参加者の気にするところ。引き続き米国の雇用と物価のハードデータを確認しながら、9月の米利下げ再開を占っていくことになるだろう。(門倉英司)

2025年8月18日 ~ 2025年8月22日

市場・指標			8月18日 ~ 8月22日		8月22日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	日本	日経平均(円)	43,876	42,331	42,633	-745	-1.7%	
	米国	NYダウ(ドル)	45,758	44,579	45,632	+686	+1.5%	
	ドイツ	DAX(ポイント)	24,444	24,180	24,363	+4	+0.0%	

市場・指標			8月18日 ~ 8月22日		8月22日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利(国債)	日本	10年(%)	1.615	1.565	1.615	+0.040	
	米国	10年(%)	4.35	4.24	4.25	-0.06	
	ドイツ	10年(%)	2.78	2.71	2.72	-0.07	

市場・指標			8月18日 ~ 8月22日		8月22日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	米ドル(円)		148.78	146.58	146.94	-0.25	
	ユーロ(円)		172.70	171.12	172.19	+0.01	
	豪ドル(円)		96.20	94.40	95.38	-0.39	

市場・指標			8月18日 ~ 8月22日		8月22日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	日本	東証リート(ポイント)	1,940	1,896	1,924	+25	+1.3%	
	米国	NY原油(ドル)	63.93	62.18	63.66	+0.9	+1.4%	
		NY金(ドル)	3,423	3,353	3,419	+36	+1.1%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年8月25日 ~ 2025年8月29日

株式

上昇か

日経平均
【予想レンジ】 42,500 円 ~ 43,500 円

- 先週の日経平均は下落。週初に米利下げ期待や海外CTA(商品投資顧問)の買いを背景に過去最高値を更新したが、翌日以降は利益確定売りが強まり、値がさ株を中心に続落。週末こそ、わずかに反発したが、米ジャクソンホール会議を控え、様子見ムードが広がり、円安が輸出株の支えとなったが、上値は重かった。
- 今週の日経平均は上昇か。ジャクソンホール会議でパウエルFRB議長が利下げに前向きな発言をしたことを受け、週初から先週の調整分に対する買い戻しが進む。円高気味となっていることが足枷となろうが、海外投資家が8月第2週には、3週間ぶりに大幅な買い越しに回帰していたこと等からセンチメントは良好。日経平均は最高値更新の期待も。

金利
(国債)

弱含み(低下)もみ合いか

10年国債利回り
【予想レンジ】 1.575 % ~ 1.635 %

- 先週の国内金利は上昇。米利下げ観測の後退や不調に終わった国内20年国債入札の結果等を背景に長期金利はジリジリと上昇。更に週末には、予想より強いCPIの発表を受けて、日銀の早期利上げ観測が高まり、10年国債利回りは1.615%(2008年10月以来)まで上昇した。
- 今週の国内金利は、弱含みもみ合いの展開か。先週末のパウエルFRB議長の利下げに前向きな発言が、米金利同様に国内金利の低下圧力となろう。とはいえ、先週末までに公表されたGDP(2025年4-6月期)とCPI(7月)が予想を上回ったことを受けて、日銀の利上げも意識されている。よって国内金利の低下は限定的とみる。29日発表のCPI(都区部8月)等も確認しながら居所を探ることになろう。

為替
(米ドル)

ドル弱含みでのみ合いか

米ドル/円
【予想レンジ】 145.80 円 ~ 147.50 円

- 先週のドル円は、小幅に円高ドル安が進展。週前半は米長期金利の上昇を受けて円安が進んだが、週末にはFRBへの政治介入懸念や利下げ観測から円高に転じた。また週末にはジャクソンホール会議で、パウエルFRB議長が「利下げを慎重ながらも進める」と説明したことを受け、円買いドル売りが進行し、最終的には1ドル146円台に。
- 今週のドル円は、ドル弱含みでのみ合いか。先週末、パウエルFRB議長が、9月利下げ再開をそれなりの確度で示唆したため、ドル安方向のリスクに注意したい。ただし、14日に公表された米PPI(7月)が予想比大幅に上振れたことや、20日に公表されたFOMCの議事要旨(7月開催分)が利下げ再開に慎重なトーンだったことも、市場参加者の気にするところであり、ドル安も限定的になろうか。

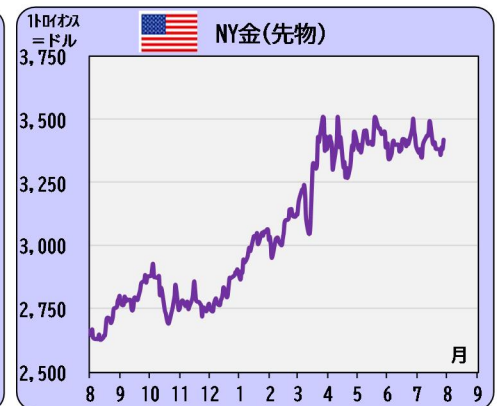
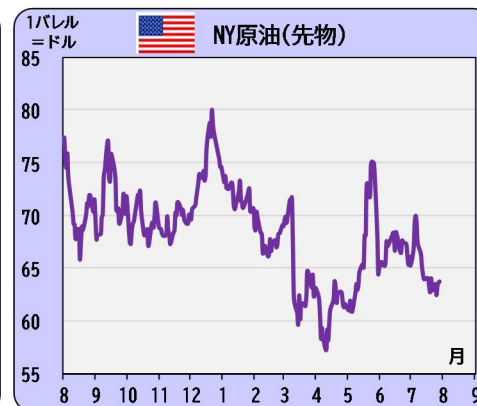
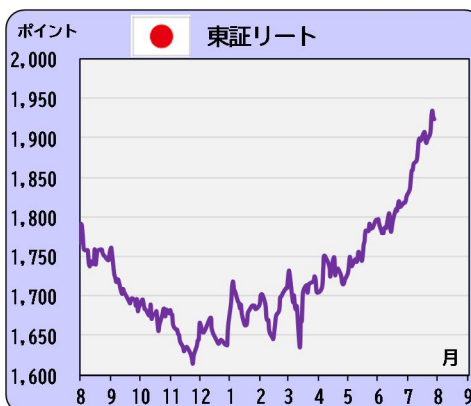
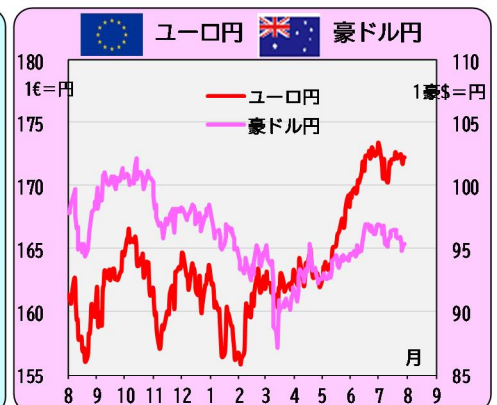
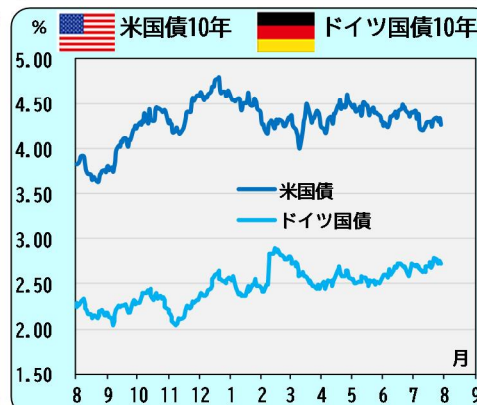
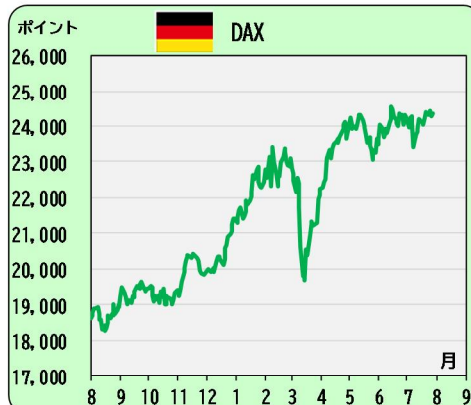
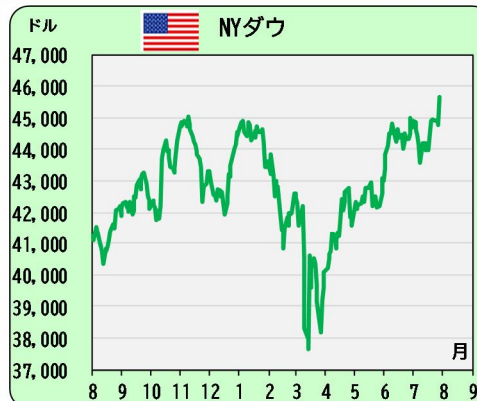


○今週の注指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
8/25(月)		米国: 新築住宅販売件数(7月)
8/26(火)		米国: S&Pケースシラー住宅価格指数(6月) 米国: コンファレンスボード消費者信頼感指数(8月)
8/27(水)		米国: 国債入札(5年)
8/28(木)	国債入札(2年)	米国: 国債入札(7年) 米国: GDP(4~6月)改定値
8/29(金)	CPI(東京都都区部8月) 完全失業率(7月) 鉱工業生産指数(7月) 住宅着工統計(7月)	米国: 個人所得・個人消費支出(7月) 米国: ミシガン大学消費者態度指数(8月)確報値

③その他チャート集

直近1年間



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PBR	株価純資産倍率
CTFC	米商品先物取引委員会	FTA	自由貿易協定	PCE	個人消費支出
CPI	消費者物価指数	GDP	国内総生産	PER	株価収益率
ECB	欧州中央銀行	IMF	国際通貨基金	PMI	購買担当者景気指数
ETF	上場投資信託	IEA	国際エネルギー機関	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
EU	欧州連合	ISM	米供給管理協会	SQ	特別清算指数
FDI	海外直接投資	OECD	経済協力開発機構	TPP	環太平洋経済連携協定
FF	フェデラルファンド	OPEC	石油輸出国機構	WSTS	世界半導体市場統計
FOMC	米公開市場委員会	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客さまご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。